

令和6年度(令和5年度実施事業分)主要事業評価シート						No.	20-5																																						
PDCA	主要事業名	ファミリーサポート利用促進事業	部課名	子ども未来部 子ども育成課	担当 内線	山田	22-4188																																						
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 1 - 1 - 1 単位施策： 子どもと子育て家庭 全体事業期間： 令和 4 年度 ～ 6 年度 全体事業費等： 10,959 千円 会計 一般会計 歳出科目： 03.02.06.02.50						目標項目（予算計上時に作成） 予算見積書で活用																																						
	事業概要等	事業概要： 子育ての手助けが必要な方（依頼会員）と子育ての手助けをしたい方（援助会員）をファミリーサポートセンターを通してつなぎ、地域で子育てを助け合う相互援助活動を推進する。令和4年度から利用無料券を配布し、気軽に利用できる機会を提供する。援助会員の確保策の一環として、1時間当たりの援助活動に対し200円の謝金を市の負担で支払う。																																											
		事業目的： 仕事と育児の両立等を支援し、安心して子育てができる環境作りを推進する。																																											
		事業内容： 依頼会員と援助会員をファミリーサポートセンターが繋ぎ、子育て支援を図る。																																											
		問題点・課題等： 依頼会員からの依頼に対応するため、援助会員の確保が課題となっている。																																											
	予算額	主要事業とする理由																																											
	3,190 千円	少子化や核家族化、地域の人間関係の希薄化等、子育てを取り巻く環境の変化により、周囲から子どもの養育に関する支援を受けられない家庭が増加しており、子育て家庭同士の相互援助活動を一層推進する必要がある。																																											
	財源内訳	得られる成果																																											
	市費 1,380 千円	子育ての不安や負担感の軽減、地域で子育てを助け合う環境の充実につながる。																																											
	国費 175 千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">目標値や目指すべき状態</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">新規援助会員登録者数</td> <td>実績値</td> <td>8</td> <td>21</td> <td>13</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>7</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						目標値や目指すべき状態		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	新規援助会員登録者数	実績値	8	21	13	人	目標値	7	20	20	人		実績値					目標値						実績値					目標値			
目標値や目指すべき状態		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位																																								
新規援助会員登録者数	実績値	8	21	13	人																																								
	目標値	7	20	20	人																																								
	実績値																																												
	目標値																																												
	実績値																																												
	目標値																																												
県費 175 千円																																													
その他 1,460 千円																																													
D 実績値と得られた成果と	決算額 1,276 千円	得られた成果																																											
		援助会員確保のための様々な取り組みにより、新たに援助会員を13人確保し、依頼会員からの依頼を援助会員に繋ぎ、子育て世帯の負担を軽減することができた。																																											
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">成果指標</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">新規援助会員登録者数</td> <td>実績値</td> <td>13</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>20</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						成果指標		令和5年度	単位	新規援助会員登録者数	実績値	13	人	目標値	20	人																											
	成果指標		令和5年度	単位																																									
	新規援助会員登録者数	実績値	13	人																																									
目標値		20	人																																										
C 課題の整理	事業の評価・課題	C ファミリーサポート事業の周知を様々な媒体を使って実施した。援助会員を確保するための取り組みとして、市民が集う場所に出向き直接勧誘を行ったり、援助会員に市から援助活動1時間あたり200円の謝金を上乗せすることで、新規会員を確保することができた。また、感染症対策として除菌シート等の物品を配布し、援助会員が安心して活動ができるよう配慮した。 1歳6ヶ月健診で「お試し無料券」を783枚配布したが、利用は17件にとどまった。 事業の周知をすることで依頼会員の入会も増えるため、援助会員の確保に絞った広報や新たな取り組みを実施していく必要がある。 また、他課の利用者支援専門員と子育ての手助けが必要な方や子育て支援・施設の情報共有を図り、適切な支援に繋ぐことができた。																																											
A 課題の解決に向けた方向性	今後の事業の方向性	改善推進 「お試し無料券」の配布や「ファミサポお試し無料券体験会」を継続実施し、利用しやすい環境を提供するとともに、依頼会員の多様なニーズに対応するために、援助会員の確保に努める。 利用者支援員同士の情報共有を定期的の実施し、適切な子育て支援に繋げていく。																																											
	観点別評価	必要性		有効性		効率性																																							
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減 減余地 ある	※手段の変更																																								
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある	⑧受益者負担適正化余地 ない																																									
	③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない																																											